※令和４年度以降入学生用

学校番号	2001

令和８年度　音楽科

教科	音楽	科目	ソルフェージュ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	コーリューブンゲン						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

視唱、視奏及び聴音に関する知識や技能を身につける。
自己の力量、進度を理解し、能力を伸ばす努力をすること。
継続して練習する習慣を身に付けること。
視唱、視奏、聴音の能力を伸ばし、自己の進路に役立てる。

2　学習の到達目標

ソルフェージュに関する学習を通して音楽的な見方､考え方を働かせ専門的な音楽に関する資質能力を次のとおり育成することを目指す。
（1）視唱、視奏及び聴音に関する知識や技能を身に付けるようにする。
（2）音楽を形づくっている要素の働きやその効果などに関する思考力､判断力､表現力などを育成する。
（3）音楽性豊かな表現をするために基礎となる学習を大切にする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・さまざまな譜表に書かれた楽譜を見て、音高、リズム、音程を捉えられるにする。 ・ピアノで演奏したメロディー、和声を正確に記譜する。(技能)	音楽を形作っている要素を正しく読み取って、旋律における音のもつ方向性やフレーズのまとまり、自然な抑揚といった音楽性豊かな表現に発展させる。	主体的、協働的に学習に取り組んでいる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	視唱	コーリューブンゲン	a:【技能】音程、リズムを正確にうたう。身体の使い方などの技能を身に付けている b:旋律における音の持つ方向性やフレーズのまとまりを感じ表現する。 c:主体的、協働的に取り組んでいる。	実技テスト	学習プリント	観察 振り返りシート
	聴音	ピアノで弾いたメロディー、和声を書き取る	a:【技能】音楽を形づくっている要素を正しく聴き取り記譜する。 b:旋律の調性、和声を感じ聴きとったことと音楽表現との結びつきを深める。 c:主体的、協働的に取り組んでいる。	実技テスト	学習プリント	観察 振り返りシート
2学期	弾き歌い	自分が選曲したものを、ピアノを演奏しながらうたう。	a:【知識】ピアノと歌のバランスに気を付け、正確な読譜、コード音楽を形づくっている要素を正しく読み取る 【技能】メロディー、伴奏共にバランスよく演奏している。 b:メロディーと伴奏の響き、重なりを大切に、役割を知覚し、その働きを感受しながらどのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:主体的、協働的に取り組んでいる。	実技テスト	学習プリント	観察 振り返りシート
	新曲視唱	初めてみる、旋律をうたう	a:【技能】音程、リズムを正確にうたう。身体の使い方などの技能を身に付けている。 b:旋律における音のもつ方向性やフレーズのまとまりを感じ表現する。 c:主体的、協働的に取り組んでいる。	実技テスト	学習プリント	観察 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

３学期	卒業演奏	自分の楽器を演奏する	a:自分の楽器の奏法の特徴に関心をもち、演奏する技能を身に付けている。 ｂ：音色、旋律、リズム、和音の特徴を知覚し、それが生み出す特質や雰囲気を感受し自己のイメージをもって表現している。 ｃ：主体的、協働的に音楽活動に取り組もうとしている。	実技 テスト	学習 プリント	観察 振り返り シート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度